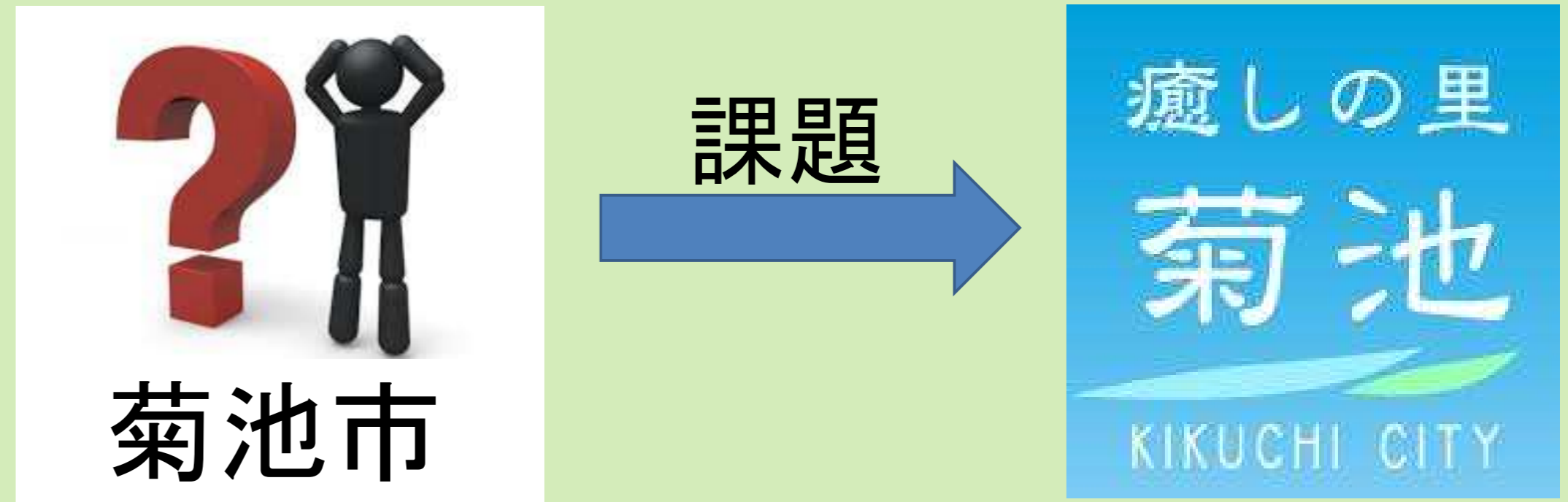


もしも、きくちにいやしモンがいたなら

～みんなでつくり、楽しむ癒しの里～

【地域ブランド力とイメージ】



「癒しの里きくち」のブランド確立のためには...
イメージ共有をしていくことが大切！

【課題解決へのアプローチ】

- ・ 住民参加型・・・まちづくりに自ら参加し貢献することで「地元への関心」を高める
- ・ イメージの見える化・・・「癒し」という言語の「見える化」を図る
- ・ 分析とフィードバック・・・癒しサイクルをつくる

【具体施策】

- ①ヒーリングマップ（癒しの地図）の作成
 - 毎年、20歳のいやしモンの意見をもとにヒーリングマップのベースを作成する。
 - 菊池市ホームページに掲載
 - 道の駅などで閲覧できるよう配置
 - 誰でも簡単にメールで菊池の癒しを投稿できる。（スポット以外も可）
 - 『イイネ!』で共有を図る。



②「菊池の癒し研究所」を設立

- ヒーリングマップの管理
- ヒーリングマップで収集した情報を分析
- 分析したデータを提供

『癒しの里きくち』ヒーリングマップ



癒しの循環



そして...

「癒しの里きくち」の魅力を引き出せるいやしモンがたくさん増える！